

施策評価調書(27年度実績)

				施策コード III-4-(2)	
政策体系	施策名	広域交通ネットワークの整備推進	所管部局名	土木建築部、企画振興部	
	政策名	「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実	関係部局名	土木建築部、企画振興部	
			長期総合計画頁	163	

【I. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	広域道路交通網の整備推進	東九州新幹線整備等鉄道の高速度の促進	広域交通ネットワークの強靱化の推進

【II. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		27年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i 大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合(%)	①	H26	73	73	73	100.0%	76	78						

【III. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 達成	H27年度は開通による割合の向上はないが、(都)庄の原佐野線や中九州横断道路など、大分市中心部までの所要時間の改善に資する事業を引き続き推進している。		達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・東九州自動車道の佐伯～蒲江間の開通により、佐伯市蒲江地域から第二次救急医療施設への搬送時間が約7分短縮となり、30分以内の搬送も可能になった。また、搬送時の走行性が向上し、患者の負担が軽減された。
②	・県、沿線市町などで構成する日豊本線高速・複線化大分県期成同盟会において、日豊本線の高速・複線化について国、JR九州に対し要望を行った。 ・東九州4県1市で構成する東九州新幹線鉄道建設促進期成会において東九州新幹線の調査事業を実施した。
③	・災害時の輸送の代替性を確保するため、高速道路の4車線化に向けた取り組みや地域高規格道路の整備を促進した。 ・国道211号線夜明大橋などの緊急輸送道路上の橋梁を対象として、落橋を防ぐ耐震対策を実施した。 ・災害対応力強化のため、港湾BCPを別府港で策定した。 (別府港を除く重要港湾については、H26年度に策定済み)

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①	(公)道路改良事業・(公)地域活力基盤道路改良事業	16,055,649	—	—	180
③	橋梁補修事業	5,214,275	—	—	177
	港湾整備事業	1,818,654	—	—	179

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○土木建築委員会への市町村長要望(H27.6)</p> <p>・東九州自動車道の「福岡県築上町～中津市～宇佐市」間の早期完成と全線完成に向け配慮をお願いしたい。</p> <p>・地域高規格道路「中津日田道路」の「日田山国道路」の早期着工、「耶馬溪道路」・「三光本耶馬溪道路」の早期完成及び、耶馬溪町から山国町間の計画路線の早期事業化をお願いしたい。</p> <p>・地域高規格道路「中九州横断道路」の「朝地～竹田間」の早期開通と「竹田～阿蘇間」の早期事業化に配慮をお願いしたい。</p>	<p>○自由民主党大分県支部連合会「平成28年度県政予算等に関する要望」(H28.1)</p> <p>・鉄道の高速度の空白地帯となっている東九州地域の発展のため、日豊本線の高速・複線化と「東九州新幹線」構想実現に向けて、一層のご支援をお願いしたい。</p> <p>○大分経済界等による中九州横断道路・中津日田道路の要望(H27.11)</p> <p>・本県の横軸を担う地域高規格道路(中九州横断道路・中津日田道路)は、九州の一体的な発展を図るために必要不可欠な道路であることから、物流を円滑にし、産業・経済活動を活性化させるために、早期整備について配慮をお願いしたい。</p>
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・中九州横断道路や中津日田道路などの地域高規格道路は未だ整備途上であることから、人や物の流れを活性化させ、観光や産業を発展させる地域高規格道路の整備を推進する。</p> <p>・東九州自動車道は県内全線開通したものの、暫定2車線区間が多く残り、重大事故の危険性が高く、緊急車両の到着遅延など課題が顕在化しており、4車線化の取り組みを推進する。</p> <p>・由布岳スマートICについては、H28年度中の完成を目指す。</p> <p>・緊急輸送道路の橋梁について、引き続き計画的な耐震補強を推進する。</p>